



こうべ子どもにこにこ会ニュース

巻頭言 ～SDGs とこうべ子どもにこにこ会～

神戸市立本庄中学校 校長 信原 孝彦

SDGs という表記を最近よく目にします。きれいに 17 色に彩色されたリングを胸に付けている人を見かけることもしばしばです。2001 年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) は、2000 年 9 月にニューヨークで開催された国連ミレニアム・サミットで採択された国連ミレニアム宣言を基にまとめられた開発分野における国際社会共通の目標です。極度の貧困と飢餓の撲滅など、達成すべき 8 つの目標を掲げ、達成期限の 2015 年までに一定の成果をあげました。SDGs が掲げた 8 つの目標を示します。

- 目標 1 : 極度の貧困と飢餓の撲滅
- 目標 2 : 初等教育の完全普及の達成
- 目標 3 : ジェンダー平等推進と女性の地位向上
- 目標 4 : 乳幼児死亡率の削減
- 目標 5 : 妊産婦の健康の改善
- 目標 6 : HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止
- 目標 7 : 環境の持続可能性確保
- 目標 8 : 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

達成状況も報告されています。

- 目標 1 開発途上地域における栄養不良の人々の割合は、1990 年からほぼ半分に減少した。
- 目標 2 開発地域における小学校の純就学率は、2000 年の 83% から 2015 年には 91% まで達した。
- 目標 3 すべての開発途上地域は、初等・中等および高等教育における男女格差を撲滅した。
- 目標 4 世界における 5 歳未満の幼児死亡率は、1990 年から 2015 年の間に生まれた 1000 人あたり 90 人から 43 人へと半分に以下に減少した。

目標 5 2014 年には、世界の 71% 以上の出産は、医療従事者の立会いの下に行われた。これは 1990 年の 59% から、目立った上昇である。

目標 6 HIV への新たな感染は 2000 年から 2013 年の間で約 40% 低下し、感染者数も約 350 万人から 210 万人へ減少した。

目標 7 2015 年には世界人口の 91% が改良された飲料水源を使用しており (1990 年には 76%)、目標は期限である 2015 年の 5 年前に達成された。

オゾン層破壊物質は 1990 年以来除去・消滅されており、オゾン層は今世紀半ばまでに回復すると見込まれている。

目標 8 インターネットの普及率は 2000 年に世界人口の 6% だったものが 2015 年には 43% まで増加し、32 億人がグローバル・ネットワークとつながった。

その後、保健・教育などの残された課題に加え、都市、気候変動、格差などの課題の解決を目指し、17 のゴール・169 のターゲットから構成された、SDGs が設定されました。具体的な GOAL の設定によって多くの人の賛同を力にする取り組みです。

SDGs は「誰ひとり置き去りにすることなく、全ての人々の尊厳が確保されるような世界を実現するという責任を全うするため」と提言し始めます。この言葉に接する時、私は「誰ひとり置き去りにすることなく」という部分に強く惹かれます。

「教室で取り残される子どもがないように」と中学校では指導に取り組む毎日ですが、あらゆる場面で、未来に向け育つ人をひとりも置き去りにすることのない社会が実現されるべきです。

昨年度の出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部改正に伴い、今後より多くの外国人の方々が日本に滞在することが予測されます。このような社会の変化にも真摯に向き合い、「誰ひとり置き去りにすることなく」生きる力を身につけられればと考えます。
2002年の設立以来、子どもが未来に展望を持つこと

を支援し続けてきた、こうべ子どもにこにこ会の活動を今後も強く応援していきたいと思いをします。

※ **SDGs** : Sustainable Development Goals
サステイナブル・ディベロップメント・ゴールズ
(持続可能な開発目標) の略称

活動レポート



放課後日本語・教科学習支援教室

毎週木曜日と土曜日の夕方に本庄地域福祉センターで学習会を実施しています。
子どもとボランティアのマッチングを行い、できるだけ一対一で学習支援を行えるようにしています。
同じ子どもを長い期間かけて担当することで、ボランティアが子どもの状態や理解度に合わせて教材や支援法を工夫することを目指しています。



就学前児童のためのプレスクール

就学前の子どもを対象にした取り組みです。
ゲームや遊びを取り入れつつ、ひらがなや数字の勉強をしています。
数字の読み方や数え方も各国で違うので、覚えることがいっぱい、たいへんです。



夏休み自由研究教室

8月の第一週には午前中に5日間、夏休み自由研究教室を実施しました。自由研究や読書感想文など家庭では取り組むことが難しい宿題をする機会になります。
外部から講師として科学の先生に来ていただき、デンプンを取り出す実験やプランクトンを顕微鏡で見るなど貴重な体験ができました。

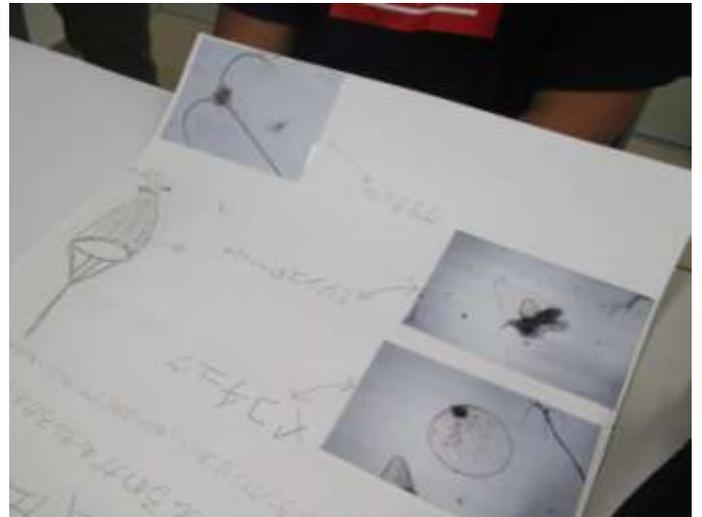


《夏休み自由研究教室の様子》

5日間のうちの1日は“おもちゃ工作隊”の協力を得て、低学年は工作をしました。
身の回りにある物を使って音の出るおもちゃを作りました。



みんな集中して取り組みました



顕微鏡で見ることができたプランクトンを
その場で写真プリントしてもらい、それを使って
自由研究にまとめます



スペイン語母語教室の取り組み

Queremos darle la bienvenida a nuestros niños desués de las vacaciones de verano. Vamos a seguir aprendiendo juntos y poner todo nuestro esfuerzo.

Le damos la bienvenida también a la profesora Naomi Fujito que ya nos acompaña desde mayo
夏休みも終わり、私たちの教室でも新学期を迎え、子供たちと一緒に頑張って良い教室にしていこうと思っています。新しい先生(藤戸なおみ先生)も今年度の5月からお迎えして、一緒にスペイン語を習っています。

日本語そして母語であるスペイン語を学ぶことで、アイデンティティを確立し、自分の力で幸せに生きていける力をつけてほしいと思います。

「ことば」でまなぶことが ありのままの自分を大切にできるのではないのでしょうか。

こうべ子どもにこにこ会 松下 朋子



2018 年度イベント報告

12月16日に多文化フェスティバル深江が開催され、『にこにこキッズカフェ』として参加しました。子どもたちが店員となって母国の食文化を紹介しながら行うキッズカフェです。子どもたちの保護者やボランティアが作ったお菓子を出します。

《メニュー》

にんじんケーキ	(ブラジル)
パスタ・フローラ	(アルゼンチン)
ブリガデイロ	(ブラジル)
ぜんざい	(日本)
アルファホール	(ペルー)
ビコ	(フィリピン)
ココナッツマカロン	(フィリピン)
チバグアス	(パラグアイ)



地域のお客様にたくさん来ていただき
様々な国のお菓子を楽しんでいただきました。
子どもたちは販売や配膳などががんばりました。

今年度も10月14日(月・祝)に深江会館で
多文化フェスティバルがあります。
その中で「にこにこキッズカフェ」を開催します。



12月22日には本庄地域福祉センターでにこにこパーティを開催しました。

毎年、年末に行うお楽しみパーティです。保護者や卒業生、地域の方にも声をかけ、子どもたちにとっては勉強以外で友達やボランティアとふれあえる機会となっています。

2018年度はスペシャルゲストとしてサクソカルテット「コパン」さんに来ていただき素敵な演奏を聴くことができました。

また、ボランティアによる「にこにこ音楽隊」の演奏、さらに合同演奏もあり、とても盛り上がりました。子どもたちが間近で生演奏を聴けるととても良い経験となりました。



コパンとボランティアの合同演奏もありました。ボランティアの人たちはお仕事と学習支援ボランティアの合間に練習しました。素敵な演奏でした。



子どもたちの保護者の方が作った各国料理



ハンドベル演奏も体験しました。



小学校 JSL 教室ニュース

令和元年度の JSL 教室は、本庄小学校 19 名、東灘小学校 4 名の子どもたちとスタートしました。例年通り、開講時に DLA(外国人指導生徒のための JSL 対話型アセスメント)を実施、学級担任との懇談で学習支援方針を固め、子どもたち一人一人の今に寄り添う学習支援を行っています。

学習支援の柱としている活動と目的は、主に以下の6つです。

- ・多読(再話、感想も含む) → 読書習慣をつける
- ・発表(作文など) → 発信力をつける
- ・児童の興味、関心を喚起する学習内容 → 主体的な学習につなげる
- ・対話 → 子どもの力を引き出し、認め、学習意欲を高める
- ・学級、放課後教室との連携 → 情報共有、学習内容を充実させる
- ・JSL 児童間、講師との交流 → もう一つの居場所



活動の集大成は学習発表会ですが、昨年度末もたくさんの参観者(校長、教頭、担任、多文化共生サポーター、保護者、市教委指導主事、放課後教室支援者、他、阪神間で外国にルーツを持つ子どもの支援に携わる学校関係者)の前で、子どもたちは堂々と、発表を楽しんでいました。

発表内容は以下の通り。今回もそれぞれの個性を生かし、バラエティに富んだものになりました。

自己紹介・自分の名前について・好きなゲーム・僕の夢

曜日／時間／擬態語・数列の法則・給食の紹介

お城の紹介・深海魚の紹介・飛行機が飛ぶ仕組み・都道府県クイズ・恐竜クイズ

平安時代について・ローストビーフの作り方・絵を上手に描く方法

ビブリオバトル・朗読劇

ペルー料理の紹介・母国と日本の学校の違い

JSL 教室の魅力紹介

参観者の皆さんから賞賛の言葉をもらい、子どもたちはとてもいい顔をしていました。学級で再発表する子どももあり、楽しいクイズで盛り上がり、級友がルーツの大切さに気づいたりする場面もあったようです。

今年度も、子どもたちがどんな隠し玉を出してくれるのか、どんな未知なる力を発揮してくれるのか、今から楽しみです。

～「こうべ校内 JSL 研究会」活動報告～

平成 30 年 12 月 2 日、子どもの日本語教育研究会第 3 回研究会(兵庫)でポスター発表を行いました。テーマは「神戸市立小学校 JSL 教室における学習発表会の実践報告～作り出し、伝える喜びを体感し、自己肯定感と学習意欲を高める～」です。平成 26 年度から始まった学習発表会について、3 つの発表事例を紹介しながら、その成果や課題を発表しました。

発表時は多くの方が熱心に耳を傾けてくださり、子どもと共に作り上げていく発表スタイルに共感、賞賛のコメントをいただきました。学習発表会を実現させるまでのプロセスを具体的に尋ねてくださる方もいらっしゃいました。また、翌年 2 月の学習発表会を実際に参観に来てくださる方もあり、大変有意義な活動となりました。





掲示板



◎ 会員になって私たちの活動を支えてください。 ◎

*正会員【年会費 5000円】 個人
総会での議決権がある会員です。

*サポーター会員【年会費 1口1000円】
個人1口以上・法人10口以上
経済的な支援を頂く賛助会員です。

※寄付も大歓迎です♪

郵便振替 00900-4-251298
こうべ子どもにこにこ会
(同封の振込用紙をご利用ください)

★会員の皆さま、ご寄付くださった皆さま、ご支援ありがとうございます！！

皆さまのご支援により、にこにこ会の活動は成り立っています。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお、備品、絵本等も有志の皆さんからいただいています。厚く御礼申し上げます。

<正会員・サポーター会員の皆様> (順不同・敬称略)

延原臣二 北村広美 大岡栄美 乾美紀 酒井滋子 武田文 松田陽子 鈴木庸子
橘直人 中畠孝幸 山口一史 田中康夫 横山文夫 江波戸美恵子 前原ゆき子
松尾真理子 長谷佳信

★2019年度に助成・ご協力いただいた団体 ありがとうございます！！

(公財)兵庫県国際交流協会、ひょうごボランティア基金、関西日英協会、「協働と参画」推進助成

(公財)コープともしびボランティア振興財団「ともしび助成」「やさしさにありがとうひょうごプロジェクト」、

神戸まちづくり六甲アイランド基金

◎ ☆ 日本語・教科支援ボランティア募集 ◎

それぞれの子どもの学習能力やニーズに対応し、主に日本語(国語)・数学(算数)・英語の学習を1対1でサポートしています。原則として日本語でサポートを行いますので、外国語能力・経験等は不問です。やる気のある方歓迎です。

☆活動時間：木・土 16:00~18:00 ☆活動場所：本庄地域福祉センター

※ボランティア オリエンテーション(要予約)に参加してみませんか？

オリエンテーション担当 松下 までお気軽にお問い合わせください。

問合せ先：078-453-7440

◎ Email: kobekodomo_nikonikokai@yahoo.co.jp ◎



こうべ子どもにこにこ会

〒658-0022 神戸市東灘区深江南町4-12-20-201

TEL・FAX 078-453-7440

Email kobekodomo_nikonikokai@yahoo.co.jp

URL <http://nikoniko.qee.jp/> (☞「こうべ子どもにこにこ会」で検索！)

